

IT 活用実践事例

商業
3 学年
情報処理

インターネットを利用した卒業旅行計画書作成

宮城県名取高等学校 石井 悟

1 学習の概要

キーワード

情報の収集と活用

自主性の育成

IT 活用のポイント

Web上の地図情報、路線情報、旅館やホテル等のページから自分の旅行を計画するための必要な情報を収集する。収集したデータをもとにワープロソフトを使用し、旅行計画書をまとめる学習。

単元名

単元計画 (5 時間)

情報通信ネットワークの利用

単元の目標

情報通信ネットワークを利用し、情報の検索方法や収集した情報の正確さ、新しさを理解する。またその情報を活用した報告書の作成方法についても理解する。

- ・ オリエンテーション
- ・ 旅行計画書作成手順の説明
(制約は 1 泊 2 日で国内、移動は公共交通手段)
- ・ 旅行目的 (テーマ) の設定
- ・ Web 上からの情報の収集作業
(必要情報を自分のファイルに貼り付けておく)
- ・ これまで学習してきたワープロソフトの機能を駆使し旅行計画書を作成する。

本時の学習

旅行情報の収集

本時の目標

目的地までの交通手段、所要時間、宿泊場所、見学料金等の情報を収集する。収集したデータは、貼り付けて保存しておく。



本時の活用コンテンツ

えきから時刻表

(<http://www.ekikara.jp/>)

仙台空港ホームページ

(<http://www.sdj-airport.com/>) など

補助資料

- ・ 教科書 (情報処理 2 1 実教出版)
- ・ 2 年次の修学旅行の旅程表
- ・ 昨年度の生徒作品を回覧

本時の学習 (5 0 分)

学習活動

目的 (テーマ) を設定したら、目的地の選定や交通手段、所要時間、宿泊場所、見学料金等の情報を収集する。

指導上の留意点

- ・ 目的に沿った見学場所になっているか？
- ・ 経費はどれくらい必要か？
- ・ 時間設定に無理はないか？
- ・ 上記の点をチェックし、粗い計画にならないよう指導する。

2 実践のポイント！

振り返りと自主性

本校では、情報処理を3年次に履修している。またこの授業は、終盤の4期に実施している。2年次に行った修学旅行を思い出させ、懐かしさとともに残り少ない高校生活を改めて意識させる。

行き先の決まっている、また連れて行ってもらった修学旅行ではなく、自分で目的を持ち計画する大変さを体験させる。

ワープロ技術のまとめ

本校では3年の4月より7月や11月の全商ワープロ実務検定取得を大きな目標としている。その過程で文書作成の機能を学習してきた。その機能を生かすようアドバイスし、1年間のまとめの学習とする。

【サンプル】



3 子どもたちは？

子どもの姿

これまでの授業の課題は、教員側で用意したものをその通りに完成させるものが多かった。そのためか自分でテーマを決めることに戸惑いを感じる生徒が目についた。自分の興味や関心を持っている物をまず思い浮かばせ、それに関連するWebページを検索させるところからスタートさせると、生徒は作業しやすいようである。

子どもの声

まず昨年先輩の作品を見せ、最初は「えっ、こんなの作ったの?」「難しそう・・・」と自信のない声が多かったが、作業が進んでくると「先生、こんなことできるの?」「入場料も調べるの?」「せっかくだからいいホテルに泊まろう。」「私は安くすむ方法です。」などと自主的に考える感覚がでてきたようである。